

活動目標

みんなの助川を
住みよいまちに！

助川

発行 助川学区コミュニティ推進会

編集 調査広報部

事務局 〒317-0071

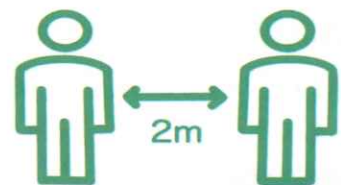
日立市鹿島町1-21-7
助川交流センター内
Tel 0294-23-0955

ホームページ: <http://www.net1.jway.ne.jp/c-sukega/>

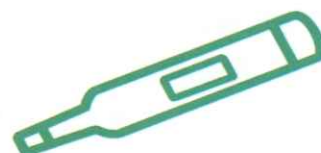
新型コロナウイルス感染症拡大予防対策



マスク着用



ソーシャルディスタンス



検温



手洗い・うがい



消毒



換気



☆交流センターご利用の皆様へご協力をお願い☆

発熱等の風邪症状がみられる方はご利用をお控えください

- ① マスクを着用しましょう
- ② 手洗い・手指消毒をしましょう
- ③ 3密（密閉・密集・密接）を避け、人と人との距離を十分に確保しましょう
- ④ 利用時間の短縮に努めましょう
- ⑤ 大きな声を出すなど、飛沫が多く飛散する行為は控えましょう
- ⑥ 定期的に外気を取り入れるなど、換気に努めましょう



利用者にチェックリストを記入してもらい、共用部分の消毒を徹底しています！

助川
で繋ぐ

日立市民文化遺産

〈参考文献〉
日立市民文化遺産
ガイドブック

(助川町2丁目)

助川小学校五代桜 (自然遺産 教育資源)

■風格のある古木の桜

助川小学校には、校庭をぐるりと囲むように、約90数本のソメイヨシノとシダレザクラ数本が植えられています。その中のソメイヨシノの1本が「五代桜」です。「明治・大正・昭和・平成・令和」の五代を生きてきた桜で、ある種の風格を感じさせる老木です。

この桜は明治38年(1905)に日露戦争の戦勝記念として当時の高鈴尋常小学校(助川小学校の旧名称)に数本植栽された中の一本といわれています。明治・大正・昭和の三代にわたって子どもたちを見守ってきたことから昭和44年(1969)、当時の学校関係者により「三代桜」と命



助川小学校五代桜

されました。

その後、平成に入り「四代桜」令和に入り「五代桜」と改名され現在に至っています。その間、テングス病やアメリカシロヒトリの害などにより樹勢の衰退が著しいことから、平成15年(2003)10月に助川小学校創立130周年記念事業の一環として学校・地域・保護者が一体となり「四代桜を守る会」が発足し、会では周囲の環境を整備するとともに、土壌改良や病樹の切除など樹勢の回復に努めました。

(助川町、成沢町)

助川山市民の森 (自然遺産 観光・教育資源)

■市内が一望できる助川山展望台

助川山市民の森は、平成3年(1991)3月7日にこの付近一帯に起きた林野火災の後、整備された自然公園です。この林野火災は、折からの強風と異常乾燥により山林217ha、住宅26棟



助川山の展望台

が焼失するというものでした。後に焼失した山林を日立市が買い取って市民憩いの場として整備し、平成10年に助川山市民の森として開園しました。森の中は、いくつもの自然遊歩道(ネイチャートレール)が設けられ、自然や動植物の解説版が設置されています。特に、標高328mの助川山には、市内が一望できるすばらし展望台があります。また、森内には高鈴山ハイキングコースが通り、西のはずれにあるおむすび池から1時間ほどで高鈴山頂に到着できます。